

宝塚市政記者クラブ各位

変革を起こす組織風土づくりを目的に CXO 補佐官(外部人材)を登用します

人口減少や少子高齢化などにより本市を取り巻く環境は今後急激に変化し、将来的には現在よりも少ない職員数で市民サービスを維持、提供していく必要があります。時代にふさわしい行財政経営に必要な変革や職員の意識改革、現場の業務課題を改善するワーキンググループなどの複数のプロジェクトに伴走していただくため、専門的知識や経験などを有するCXO 補佐官(外部人材)を登用します。

(※CXO=Chief Transformation Officer(変革推進最高責任者)であり、本市では副市長をCXOとして位置づけています。)

- 1 期間 令和4年(2022年)6月1日から
令和7年(2025年)3月31日まで(2年10か月)

- 2 CXO 補佐官(外部人材)プロフィール

- ・宮崎 光世(みやざき・こうせい)氏
兵庫大学現代ビジネス学部教授、神戸市CDO補佐官、
紀尾井町戦略研究所株式会社フェロー
専門分野:行政DX推進、デジタルリテラシー、AI・ビッグデータ活用



- ・石原 弘子(いしはら・ひろこ)氏
ティールスタート株式会社代表取締役、
紀尾井町戦略研究所株式会社フェロー、
認定NPO法人フローレンス ディレクター、
米国NLPマスタープラクティショナー
専門分野:社会課題解決DX化支援、チームおよびコミュニティのセルフマネジメント組織化支援、人材育成コーチング、メンタリング、1on1等伴走支援ほか



- 3 CXO 補佐官(外部人材)登用の趣旨

令和3年(2021年)7月に、市は、市民が日々の暮らしに豊かさを実感できる価値を創造し、第6次宝塚市総合計画を着実に推進していくために、宝塚市行財政経営方針を策定しました。

行財政経営方針に基づき、これまでの延長線上での発想や行動にとらわれない職員の育成、時代の変化や課題に的確に対応できる組織づくりを進め、時代の変化に適応し続けるための基盤を構築していきます。

- 4 業務内容

- ・幹部職をはじめとした職員とのミーティング
- ・組織横断的な課題に対応するためのワーキンググループへの助言 など

- 5 問い合わせ先

企画経営部 政策室 経営改革推進課 担当:堀田 TEL:0797-77-4571(直通)